

牲になつてゐるもので、之を避けるためには先ず両親を教育しなければなりません。私は三十四、五年前東大の教授になりました時から毎月学生と修養の集りを催しましたが、

二、三年を経過した頃漸く、高等学校を卒業し性格が出来上つてゐる大学生に説くよりも、十二、三才までに確りとした性格を作り上げるように幼児を教育することが大切であることを悟り四十八才の時から大学停年退職後に幼稚教育に携わることを決心いたしました。併し幼稚園で幼児に接するようになりますと同時に両親が先ず教育されなければならぬことを知り、只今ではよく教育された祖父母によつて導かれた両親によつて初めてその子供が立派に教育される、即ち教育には三代の時日を要すると言え思つようになります。この意味に於ては準備教育は三代かかる

ということになります。御清聴を感謝いたします。

三、小学校の立場から

滑川道夫

私立小学校の一般に通じるものとして、将来大学に入つても充分に学習出来る能力を持つ子供を入れることになる。

小学校教育のための準備教育は生活指導としての意味で必要であるが入学のための準備教育はやめてもらいたい。

上の学校に入るための段階的な生活準備教育は行うべきである。

生活の態度、基礎的生活習慣の養成が本来

四、児童学の立場から

平井信義

問題は小学校の受け入れ方にあると思います。選衡の方法が、単に智能テストではなく、性質のよさとか、育て方のよさとかを充分考慮されれば、智能テストに狂奔するようなことはなくなるでしょう。むしろ育て

方から云えば、智能テストに夢中になる親に問題があるわけで、減点の材料にされてはいいがでしようか。智能テストを練習してきたものかどうかは、テスターが熟練者であればじきに見分けがつくものです。練習して來た